

科目ナンバー： BC4012

授業コード： 2230400100

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論

英文科目名称： Public Health Nursing Skills

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	看護師課程自由選択、保健師課程必修
担当教員			
高林知佳子、◎野口裕子、前川絵里子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 高林 知佳子 ◎野口 裕子 前川 絵里子 久保野 裕子 実務経験のある教員が担当します。	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 304 209 307 共同研究室2	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp yuko@niigata-cn.ac.jp maekawa@niigata-cn.ac.jp kubono@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程			
	【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】	【DP4】
	【DP5】 ○	【DP6】	【DP7】	

到達目標	1. 公衆衛生看護活動の展開における地域診断、公衆衛生看護活動計画立案、評価の方法が実施できる。 2. 地域を構成する個人・家族への公衆衛生看護活動の方法と、家庭訪問・健康教育の技術が実施できる。 3. 地域組織の育成・支援の目的と方法について説明できる。 4. 事業化・施策化と地域ケアシステムの発展過程について説明できる。
授業概要	地域・在宅看護学論Ⅰ、公衆衛生看護学概論で学んだ内容を基礎として、地域を構成する人々が主体的に問題を解決できるよう、地域特性をふまえた支援方法と公衆衛生看護技術について理解できるように構成する。地域集団を対象に展開する地域診断、公衆衛生看護活動の方法及び、地域で生活する個人・家族を対象とした個別援助の方法と技術について学ぶ。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：公衆衛生看護活動の展開における地域診断が説明できる 学修内容： 1. 地域診断の目的 2. 地域診断の進め方 3. コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて地域診断を行い、健康課題・健康ニーズの抽出を行う 事前学修：1年次公衆衛生看護学概論で学んだ地域診断の講義資料を読み直し、地域診断の目的を想起する 事後学修：上越市のホームページを参考にして、コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて上越市に関する情報収集を行う。 2 備考：野口 授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：公衆衛生看護活動の展開における地域診断が実施できる 学修内容： 1. 地域診断の目的 2. 地域診断の進め方 3. コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて地域診断を行い、健康課題・健康ニーズの抽出を行う 事前学修：上越市のホームページを参考にして、コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて上越市の情報収集から地域診断を行う 事後学修：上越市のホームページを参考にして、コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて上越市の地域診断からライフサイクルごとの健康課題の抽出を行う 3 備考：野口 授業内容 授業形態：講義・演習

	学修課題：家庭訪問の援助方法を説明できる。 学修内容：1. 家庭訪問の目的・対象・方法と保健施策との関連 2. 家庭訪問における情報収集、アセスメント、訪問計画の立案 3. 家庭訪問の展開方法、記録 事前学修：授業にて演習が行えるよう、テキストから事前に指定する事例を一読し、テキストを授業に持参する。 事後学修：作成した家庭訪問記録を他者の意見や授業を振り返り、修正する。 備考：前川 4 授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：家庭訪問の援助方法を説明できる。 学修内容：1. 家庭訪問の目的・対象・方法と保健施策との関連 2. 家庭訪問における情報収集、アセスメント、訪問計画の立案 3. 家庭訪問の展開方法、記録 事前学修：授業にて演習が行えるよう、テキストから事前に指定する事例を一読し、テキストを授業に持参する。 事後学修：作成した家庭訪問記録を他者の意見や授業を振り返り、修正する。 備考：前川 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：施策化の目的と地域ケアシステムの発展過程を説明できる。 事業化の目的と展開方法を理解する。 学修内容：1. 施策化の目的と地域ケアシステムの発展過程、ネットワーク形成 2. 事業化の目的と展開方法、評価 3. 公衆衛生看護活動計画立案の基本的手順 事前学修：テキストP164～184を熟読し、施策化と事業化の違い、公衆衛生看護活動計画立案の基本的手順について調べる。 事後学修：テキストP164～184を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：健康教育の方法を説明できる。 健康教育の展開過程の実際を実施できる。 学修内容：1. 健康教育の目的・対象、方法 2. 健康教育の準備・実践・評価、事後フォローアップ 事前学修：地域診断について復習しておく。テキストP180～220を読んでおく。 事後学修：実際に健康教育の企画書・指導案を作成する。 備考：久保野 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：地区活動の方法や地域組織活動を説明できる。 学修内容：1. 地区活動の概念、方法論、展開 2. 地域組織の育成・支援の目的と方法 3. 公衆衛生看護活動計画を立案する 事前学修：地域組織活動に関するテキスト記載箇所を読むこと 事後学修：講義を振り返り、上越市の地域組織活動に関して自分なりに考えを深める 備考：野口 8 授業内容 授業形態：演習 学修課題：公衆衛生看護活動計画の立案が実施できる。 学修内容：1. 地区活動の概念、方法論、展開 2. 地域組織の育成・支援の目的と方法 3. 公衆衛生看護活動計画を立案する 事前学修：地区活動計画に関するテキスト記載箇所を読むこと 事後学修：講義を振り返り、上越市の公衆衛生看護活動計画を各自で作成する 備考：野口
評価方法、評価基準	・筆記試験60点は、到達目標1～4の達成度を評価する。 ・課題40点【地域診断（到達目標1の達成度）10点、家庭訪問（到達目標2の達成度）10点、健康教育（到達目標2の達成度）10点、公衆衛生看護活動計画（到達目標1の達成度）10点】として評価する。 ・ただし、課題の提出状況が悪い場合は、最大10点をめどに減点する。 ・試験実施日については、最初の講義時に説明する。
必携図書	標準保健師講座 公衆衛生看護技術 第5版（2023）（医学書院）
参考図書・資料等	標準保健師講座 公衆衛生看護学概論 第6版（医学書院） 公衆衛生看護学第3版（2021）、中央法規 公衆衛生看護学テキスト2「公衆衛生看護技術」（医歯薬出版株式会社）
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は、事前に担当教員に連絡すること 講義資料は、当日配布する
教員からのメッセージ	地域・在宅看護論Ⅰ、公衆衛生看護学概論で学んだ内容を基礎とするので、復習して授業に臨んでください。 授業は双方向で行い、学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な受講態度を期待します。

オフィスアワー	時間指定なし（事前予約必要）
---------	----------------